

くすりのしおり（案）

内服剤

2025 年 8 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: アビラテロン酢酸エステル錠 250mg「JG」

主成分: アビラテロン酢酸エステル (Abiraterone acetate)

剤形: やわらかい黄みの赤色の錠剤、長径 16.1mm、短径 9.6mm、厚さ 6.5mm

シート記載など: アビラテロン酢酸エステル 250「JG」、アビラテロン、250「JG」、250、Abiraterone Acetate 250、アビラテロン酢酸エステル錠 250mg「JG」



この薬の作用と効果について

アンドロゲン（男性ホルモン）合成酵素の活性を阻害することで、前立腺癌細胞の増殖を抑制します。通常、前立腺癌の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害がある。
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（: 医療担当者記入）
- ・通常、成人はプレドニゾロンと併用し、1 回 4 錠（主成分として 1,000mg）を 1 日 1 回、食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間を避けて、服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に、食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間を避けて、1 回分を飲んでください。次の日からは、またいつもの時間に服用してもかまいません。1 日飲み忘れた場合は、翌日から通常の 1 回分を飲んでください。2 日以上飲み忘れた時は、直ちに医師または薬剤師に知らせてください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・服用している間、定期的に血圧測定、血液検査、体重の測定などが行われます。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、高血圧、疲労、ほてり、吐き気、末梢性浮腫、便秘、下痢などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・動悸・息切れ、胸が痛い、足のむくみ [心障害]
- ・全身倦怠感、食欲不振、吐き気、嘔吐、黄疸 [劇症肝炎、肝不全、肝機能障害]
- ・痙攣、筋力の低下、全身倦怠感 [低カリウム血症]
- ・鼻血、歯ぐきの出血、四肢などの皮下出血（直径 1mm 前後の出血点と直径 3～5mm 前後の出血斑が混在） [血小板減少]
- ・手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ、赤褐色尿 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。